

大阪市の推計人口年報（平成 26 年）

～平成 26 年 10 月 1 日現在の推計人口と 1 年間の人口異動の動向～

平成 26 年 12 月

大 阪 市

目次

1	人	口	総	数	・ ・ ・ ・ ・	1	
2	男	女	別	人	口	・ ・ ・ ・ ・	1
3	世		帯	数	・ ・ ・ ・ ・	2	
4	区	別	人	口	・ ・ ・ ・ ・	2	
5	区	別	世	帯	数	・ ・ ・ ・ ・	5
6	人	口	異	動	・ ・ ・ ・ ・	7	
7	年	齢	別	人	日	・ ・ ・ ・ ・	11

《利用上の注意》

- ・推計方法について

推計人口（毎月 1 日現在）は、平成 24 年 7 月までは、「住民基本台帳」及び「外国人登録」の月々の増減を国勢調査結果の人口に加減して算出し、平成 24 年 8 月以降は、外国人住民が住民基本台帳に含まれることから、「住民基本台帳」の月々の増減を加減して算出している。本資料は平成 22 年国勢調査結果による推計人口である。

- ・人口異動について

推計人口においては、出生と死亡の差を自然動態（自然増減）とし、転入と転出の差を社会動態（社会増減）とした。転入、転出は市内の区相互間を含んでいる。

人口異動の自然増減率、出生率、死亡率、社会増減率、転入率、転出率は、前年 10 月 1 日現在の人口 1000 人に対する割合（千分比）である。※ 単位：‰（パーミル）

・年齢別人口について

年齢別人口は、平成 24 年 7 月までは、国勢調査結果の年齢（各歳）、男女別人口を基準に、「住民基本台帳」及び「外国人登録」の月々の年齢（各歳）、男女別人口異動を加減して算出し、平成 24 年 8 月以降は、外国人住民が住民基本台帳に含まれることから、「住民基本台帳」の月々の年齢（各歳）、男女別人口異動を加減して算出した推計人口である。

1 人口総数

平成 26 年 10 月 1 日の大阪市の推計人口は 268 万 6246 人で、前年（平成 25 年 10 月 1 日）と比べると 2759 人（0.1%）の増加となった。

表 1 人口の推移

年次	人口 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)
17年	2,628,811	4,036	0.2
18年	2,634,944	6,133	0.2
19年	2,642,854	7,910	0.3
20年	2,650,670	7,816	0.3
21年	2,659,796	9,126	0.3
22年	2,665,314	5,518	0.2
23年	2,670,579	5,265	0.2
24年	2,677,375	6,796	0.3
25年	2,683,487	6,112	0.2
26年	2,686,246	2,759	0.1

1 **太字**は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口。

2 平成18年から21年の推計人口は平成22年国勢調査結果により修正を行っているため、推計人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

2 男女別人口

平成 26 年の人口を男女別にみると、男性が 130 万 2787 人、女性が 138 万 3459 人となっている。

男女別の人口を平成 25 年と比べると、男性が 857 人（0.1%）増、女性が 1902 人（0.1%）増とそれぞれ増加している。人口性比（女性 100 人に対する男性の数）は 94.2 となっている。

表 2 男女別人口の推移

年次	男（人）		女（人）		性比
		増減数（人）		増減数（人）	
17年	1,280,325	302	1,348,486	3,734	94.9
18年	1,280,924	599	1,354,020	5,534	94.6
19年	1,284,596	3,672	1,358,258	4,238	94.6
20年	1,287,428	2,832	1,363,242	4,984	94.4
21年	1,291,950	4,522	1,367,846	4,604	94.5
22年	1,293,798	1,848	1,371,516	3,670	94.3
23年	1,296,084	2,286	1,374,495	2,979	94.3
24年	1,299,409	3,325	1,377,966	3,471	94.3
25年	1,301,930	2,521	1,381,557	3,591	94.2
26年	1,302,787	857	1,383,459	1,902	94.2

1 **太字**は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口。

2 平成18年から21年の推計人口は平成22年国勢調査結果により修正を行っているため、推計人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

3 世帯数

平成 26 年の世帯数は 136 万 4161 世帯で、1 世帯当たり人員は 1.97 人となっている。

これを平成 25 年と比べると、1 万 921 世帯（0.8%）の増加となっている。

1 世帯当たり人員は一貫して減少を続けており、平成 25 年の 1.98 人からさらに減少し、平成 26 年では 1.97 人となり、平成 25 年に引き続き 2 人台を割り込んだ。

表 3 世帯数の推移

年次	世帯数 (世帯)	増減数 (世帯)	増減率 (%)	1 世帯当たり 人員 (人)
17年	1,245,012	12,030	1.0	2.11
18年	1,261,113	16,101	1.3	2.09
19年	1,273,724	12,611	1.0	2.07
20年	1,289,751	16,027	1.3	2.06
21年	1,305,639	15,888	1.2	2.04
22年	1,317,990	12,351	0.9	2.02
23年	1,329,516	11,526	0.9	2.01
24年	1,341,554	12,038	0.9	2.00
25年	1,353,240	11,686	0.9	1.98
26年	1,364,161	10,921	0.8	1.97

太字は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口による。

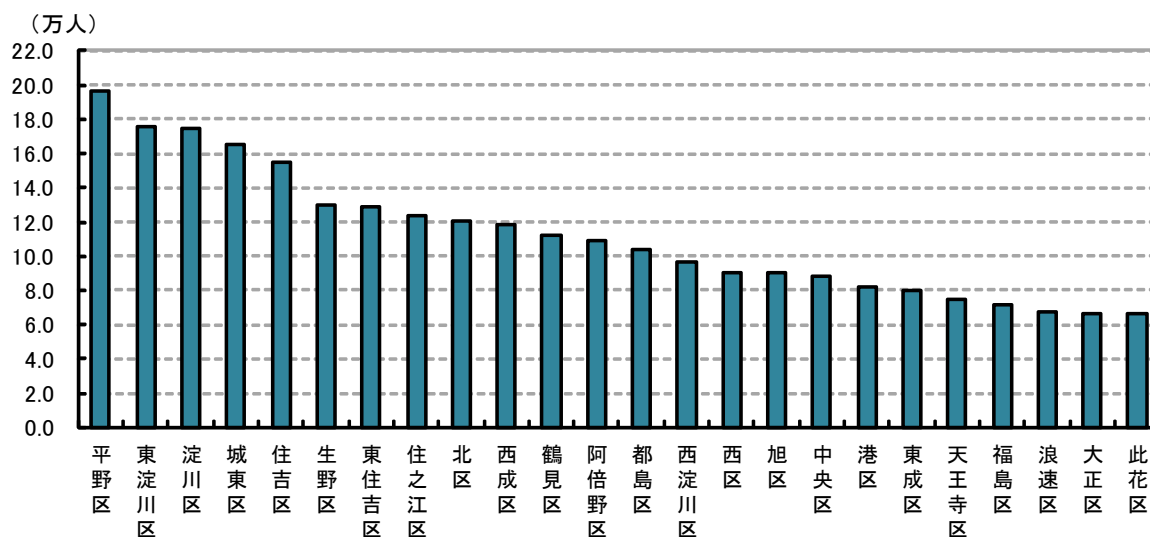
4 区別人口

平成 26 年の人口を区別にみると、平野区が 19 万 6702 人と最も多く、次いで東淀川区が 17 万 5393 人、淀川区が 17 万 4512 人、城東区が 16 万 5190 人、住吉区が 15 万 4539 人と続いている。

この 1 年間の人口増減数を区別にみると、北区が 3184 人と最も多く、次いで中央区が 2787 人、西区が 2316 人など、引き続き市域中心部を中心に増加している一方、生野区が△1248 人と最も少なく、次いで住之江区が△1244 人、西成区が△1222 人、平野区が△1137 人、東淀川区が△1057 人と続いている。

人口増減率は中央区が 3.2%と最も高く、次いで北区が 2.7%、西区が 2.6%、浪速区が 1.3%、天王寺区が 1.2%など、人口増減数と同様に市域中心部で高くなっている一方、大正区が△1.1%と最も低く、次いで生野区、住之江区、西成区が△1.0%、港区が△0.9%と続いている。

図 1 区別の推計人口



平成26年10月1日現在の推計人口による。

表 4 - 1 区別の推計人口

区名	人口（人）		対前年（平成25年）	
	平成26年	平成25年	増減数（人）	増減率（％）
大 阪 市	2, 686, 246	2, 683, 487	2, 759	0. 1
北 区	120, 727	117, 543	3, 184	2. 7
都 島 区	104, 147	104, 059	88	0. 1
福 島 区	71, 909	71, 367	542	0. 8
此 花 区	66, 198	66, 351	△ 153	△ 0. 2
中 央 区	88, 819	86, 032	2, 787	3. 2
西 区	90, 623	88, 307	2, 316	2. 6
港 区	81, 810	82, 593	△ 783	△ 0. 9
大 正 区	66, 421	67, 138	△ 717	△ 1. 1
天 王 寺 区	74, 341	73, 443	898	1. 2
浪 速 区	67, 134	66, 246	888	1. 3
西 淀 川 区	96, 350	96, 858	△ 508	△ 0. 5
淀 川 区	174, 512	174, 025	487	0. 3
東 淀 川 区	175, 393	176, 450	△ 1, 057	△ 0. 6
東 成 区	80, 019	80, 355	△ 336	△ 0. 4
生 野 区	129, 472	130, 720	△ 1, 248	△ 1. 0
旭 区	90, 526	91, 027	△ 501	△ 0. 6
城 東 区	165, 190	164, 904	286	0. 2
鶴 見 区	111, 988	111, 877	111	0. 1
阿 倍 野 区	108, 861	107, 909	952	0. 9
住 之 江 区	123, 411	124, 655	△ 1, 244	△ 1. 0
住 吉 区	154, 539	155, 061	△ 522	△ 0. 3
東 住 吉 区	128, 816	129, 168	△ 352	△ 0. 3
平 野 区	196, 702	197, 839	△ 1, 137	△ 0. 6
西 成 区	118, 338	119, 560	△ 1, 222	△ 1. 0

10月 1 日現在推計人口

表 4 - 2 人口増減数（上位 7 区）

順位	平成23年～24年		平成24年～25年		平成25年～26年	
	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）
1	中央区	2,049	中央区	3,003	北区	3,184
2	北区	2,000	北区	2,886	中央区	2,787
3	西区	1,860	浪速区	1,814	西区	2,316
4	天王寺区	1,373	西区	1,564	阿倍野区	952
5	浪速区	1,283	福島区	1,491	天王寺区	898
6	福島区	935	淀川区	1,331	浪速区	888
7	都島区	787	天王寺区	1,256	福島区	542

表 4 - 3 人口増減数（下位 7 区）

順位	平成23年～24年		平成24年～25年		平成25年～26年	
	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）
1	西成区	△ 912	生野区	△ 1,072	生野区	△ 1,248
2	港区	△ 858	住之江区	△ 934	住之江区	△ 1,244
3	生野区	△ 830	平野区	△ 835	西成区	△ 1,222
4	大正区	△ 765	大正区	△ 820	平野区	△ 1,137
5	住之江区	△ 707	西成区	△ 792	東淀川区	△ 1,057
6	平野区	△ 627	港区	△ 765	港区	△ 783
7	東住吉区	△ 449	東淀川区	△ 614	大正区	△ 717

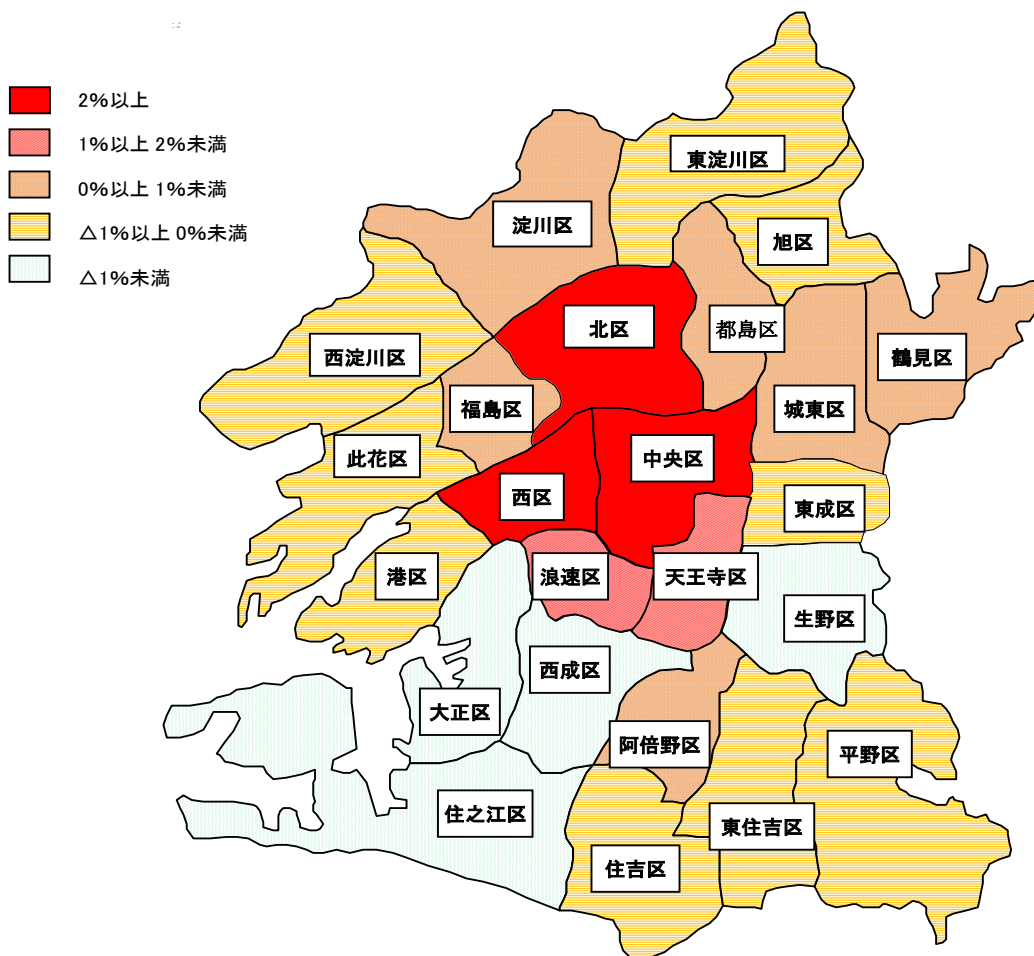
表 4 - 4 人口増減率（上位 7 区）

順位	平成23年～24年		平成24年～25年		平成25年～26年	
	区名	増減率（％）	区名	増減率（％）	区名	増減率（％）
1	中央区	2.5	中央区	3.6	中央区	3.2
2	西区	2.2	浪速区	2.8	北区	2.7
3	浪速区	2.0	北区	2.5	西区	2.6
4	天王寺区	1.9	福島区	2.1	浪速区	1.3
5	北区	1.8	西区	1.8	天王寺区	1.2
6	福島区	1.4	天王寺区	1.7	阿倍野区	0.9
7	都島区	0.8	淀川区	0.8	福島区	0.8

表 4 - 5 人口増減率（下位 7 区）

順位	平成23年～24年		平成24年～25年		平成25年～26年	
	区名	増減率（％）	区名	増減率（％）	区名	増減率（％）
1	大正区	△ 1.1	大正区	△ 1.2	大正区	△ 1.1
2	港区	△ 1.0	港区	△ 0.9	西成区	△ 1.0
3	西成区	△ 0.8	生野区	△ 0.8	住之江区	△ 1.0
4	生野区	△ 0.6	住之江区	△ 0.7	生野区	△ 1.0
5	住之江区	△ 0.6	西成区	△ 0.7	港区	△ 0.9
6	旭区	△ 0.4	旭区	△ 0.5	東淀川区	△ 0.6
7	東住吉区	△ 0.3	西淀川区	△ 0.5	平野区	△ 0.6

図2 区別人口増減率の分布



5 区別世帯数

平成26年の世帯数を区別にみると、淀川区が9万4627世帯と最も多く、次いで東淀川区が9万4002世帯、平野区が8万8319世帯、城東区が7万7595世帯、住吉区が7万5099世帯と続いている。世帯数が最も少ない区は大正区の3万208世帯で、次いで此花区が3万314世帯、天王寺区が3万7362世帯と続いている。

この1年間の世帯数の増減数を区別にみると、北区が2269世帯と最も多く、次いで中央区が1958世帯、西区が1430世帯、淀川区が839世帯と続いており、21区で増加となっている。

世帯数の増減率では、中央区が3.6%と最も高く、次いで北区が3.2%、西区が2.8%など、市域中心部で高い増減率となっている。

1世帯当たり人員をみると、鶴見区が2.39人と最も多く、次いで平野区が2.23人、大正区が2.20人、此花区と西淀川区が2.18人と続いている。一方、最も少ない区は浪速区の1.47人であり、次いで中央区が1.58人、西成区が1.62人と続いている。

表 5 - 1 区別世帯数

	世帯数（世帯）		対前年（平成25年）		1世帯当たり 人員（人）
	平成26年	平成25年	増減数（世帯）	増減率（％）	平成26年
大 阪 市	1,364,161	1,353,240	10,921	0.8	1.97
北 区	72,803	70,534	2,269	3.2	1.66
都 島 区	51,452	51,201	251	0.5	2.02
福 島 区	37,685	37,163	522	1.4	1.91
此 花 区	30,314	30,135	179	0.6	2.18
中 央 区	56,339	54,381	1,958	3.6	1.58
西 区	52,008	50,578	1,430	2.8	1.74
港 区	40,192	40,265	△ 73	△ 0.2	2.04
大 正 区	30,208	30,257	△ 49	△ 0.2	2.20
天 王 寺 区	37,362	36,837	525	1.4	1.99
浪 速 区	45,807	45,251	556	1.2	1.47
西 淀 川 区	44,195	44,052	143	0.3	2.18
淀 川 区	94,627	93,788	839	0.9	1.84
東 淀 川 区	94,002	93,740	262	0.3	1.87
東 成 区	39,934	39,802	132	0.3	2.00
生 野 区	63,267	63,154	113	0.2	2.05
旭 区	44,028	43,997	31	0.1	2.06
城 東 区	77,595	76,873	722	0.9	2.13
鶴 見 区	46,820	46,416	404	0.9	2.39
阿 倍 野 区	51,096	50,585	511	1.0	2.13
住 之 江 区	57,167	57,128	39	0.1	2.16
住 吉 区	75,099	74,929	170	0.2	2.06
東 住 吉 区	60,945	60,571	374	0.6	2.11
平 野 区	88,319	87,836	483	0.5	2.23
西 成 区	72,897	73,767	△ 870	△ 1.2	1.62

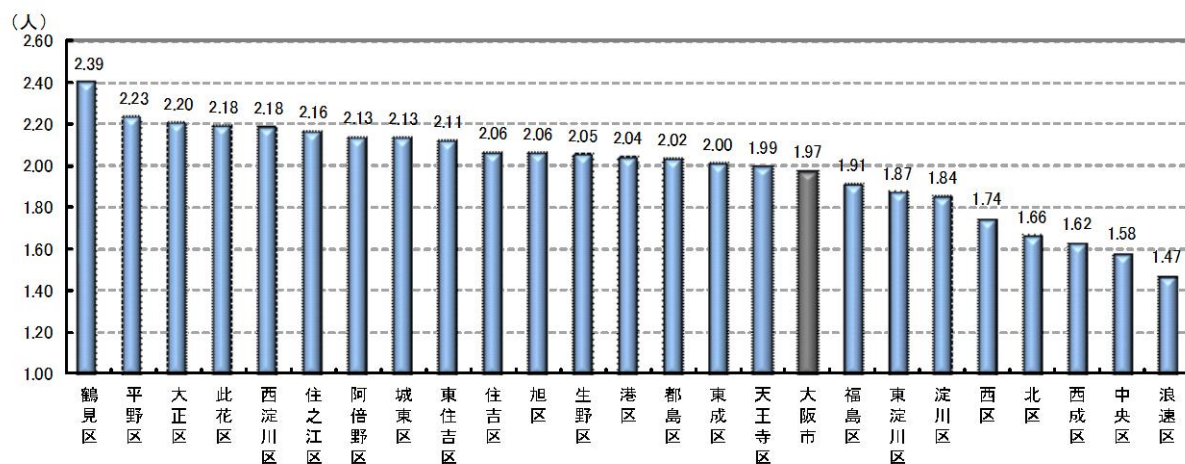
10月1日現在推計人口

表 5 - 2 世帯数及び1世帯当たり世帯人員（上位・下位5区）

世帯数（世帯）				1世帯当たり世帯人員（人）			
上位5区		下位5区		上位5区		下位5区	
淀川区	94,627	大正区	30,208	鶴見区	2.39	浪速区	1.47
東淀川区	94,002	此花区	30,314	平野区	2.23	中央区	1.58
平野区	88,319	天王寺区	37,362	大正区	2.20	西成区	1.62
城東区	77,595	福島区	37,685	此花区	2.18	北区	1.66
住吉区	75,099	東成区	39,934	西淀川区	2.18	西区	1.74

平成26年10月1日現在の推計人口による。

図 3 区別1世帯当たり世帯人員



平成26年10月1日現在の推計人口による。

6 人口異動（前年 10 月中から当年 9 月中の合計）

(1) 自然動態

平成 26 年の自然動態（出生と死亡の差）は 5300 人の減少となり、平成 25 年の自然動態（5305 人減）と比べると、5 人の増加となった。また、自然増減率は前年と変わらず△2.0‰となっている。

自然増減数を区別にみると、西区が 439 人と最も多く、次いで鶴見区が 350 人、中央区が 304 人、北区が 280 人、天王寺区が 190 人など 8 区で増加となっている一方、西成区が△2006 人と最も少なく、次いで生野区が△823 人、東住吉区が△616 人、平野区が△594 人と続いている。

自然増減率では、西区が 5.0‰と最も高く、次いで中央区が 3.5‰、鶴見区が 3.1‰と続いている一方、西成区が△16.8‰と最も低く、次いで生野区が△6.3‰、大正区が△6.2‰と続いている。

ア 出生

平成 26 年の出生数は 2 万 2810 人で、平成 25 年（2 万 3234 人）と比べると 424 人の減少となり、出生率は 8.5‰（前年 8.7‰）となっている。

出生数を区別にみると、平野区が 1610 人と最も多く、次いで淀川区が 1540 人、城東区が 1469 人、東淀川区が 1445 人と続いている。出生数が最も少ない区は大正区の 436 人となっている。

出生率では、西区が 12.1‰と最も高く、次いで鶴見区が 11.4‰、福島区が 10.8‰、中央区が 10.5‰と続いている。最も低いのは西成区の 4.5‰となっている。

イ 死亡

平成 26 年の死亡数は 2 万 8110 人で、平成 25 年（2 万 8539 人）と比べると 429 人の減少となり、死亡率は 10.5‰（前年は 10.7‰）となっている。

死亡数を区別にみると、西成区が 2546 人と最も多く、次いで平野区が 2204 人、生野区が 1680 人、城東区が 1641 人と続いている。死亡数が最も少ない区は天王寺区の 569 人である。

死亡率では、西成区が 21.3‰と最も高く、次いで生野区が 12.9‰、大正区が 12.7‰と続いている。最も死亡率が低いのは中央区の 6.9‰となっている。

表 6－1 自然動態の推移

年次	自然増減			出生			死亡		
	増減数 (人)	対前年 (人)	自然 増減率 (‰)	出生数 (人)	対前年 (人)	出生率 (‰)	死亡数 (人)	対前年 (人)	死亡率 (‰)
17年	△ 1,878	△ 2,077	△ 0.7	22,706	△ 975	8.7	24,584	1,102	9.4
18年	△ 1,412	466	△ 0.5	22,823	117	8.7	24,235	△ 349	9.2
19年	△ 1,660	△ 248	△ 0.6	23,568	745	8.9	25,228	993	9.6
20年	△ 1,506	154	△ 0.6	24,028	460	9.1	25,534	306	9.7
21年	△ 1,703	△ 197	△ 0.6	23,346	△ 682	8.8	25,049	△ 485	9.5
22年	△ 3,184	△ 1,481	△ 1.2	23,608	262	8.9	26,792	1,743	10.1
23年	△ 3,945	△ 761	△ 1.5	23,766	158	8.9	27,711	919	10.4
24年	△ 4,337	△ 392	△ 1.6	23,067	△ 699	8.6	27,404	△ 307	10.3
25年	△ 5,305	△ 968	△ 2.0	23,234	167	8.7	28,539	1,135	10.7
26年	△ 5,300	5	△ 2.0	22,810	△ 424	8.5	28,110	△ 429	10.5

1 自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

3 平成18年から21年の推計人口は、平成22年国勢調査結果により修正を行っているため、人口異動の増減数と前述の人口推移の増減数とは一致しない。

表 6 - 2 区別自然動態

区名	自然 増減数 (人)	自然 増減率 (‰)	出生数 (人)	出生率 (‰)	死亡数 (人)	死亡率 (‰)
大 阪 市	△ 5,300	△ 2.0	22,810	8.5	28,110	10.5
北 区	280	2.4	1,157	9.8	877	7.5
都 島 区	△ 72	△ 0.7	948	9.1	1,020	9.8
福 島 区	174	2.4	774	10.8	600	8.4
此 花 区	△ 109	△ 1.6	636	9.6	745	11.2
中 央 区	304	3.5	901	10.5	597	6.9
西 区	439	5.0	1,068	12.1	629	7.1
港 区	△ 335	△ 4.1	603	7.3	938	11.4
大 正 区	△ 418	△ 6.2	436	6.5	854	12.7
天 王 寺 区	190	2.6	759	10.3	569	7.7
浪 速 区	5	0.1	653	9.9	648	9.8
西 淀 川 区	△ 185	△ 1.9	839	8.7	1,024	10.6
淀 川 区	40	0.2	1,540	8.8	1,500	8.6
東 淀 川 区	△ 114	△ 0.6	1,445	8.2	1,559	8.8
東 成 区	△ 263	△ 3.3	660	8.2	923	11.5
生 野 区	△ 823	△ 6.3	857	6.6	1,680	12.9
旭 区	△ 440	△ 4.8	697	7.7	1,137	12.5
城 東 区	△ 172	△ 1.0	1,469	8.9	1,641	10.0
鶴 見 区	350	3.1	1,280	11.4	930	8.3
阿 倍 野 区	△ 197	△ 1.8	847	7.8	1,044	9.7
住 之 江 区	△ 423	△ 3.4	865	6.9	1,288	10.3
住 吉 区	△ 315	△ 2.0	1,258	8.1	1,573	10.1
東 住 吉 区	△ 616	△ 4.8	968	7.5	1,584	12.3
平 野 区	△ 594	△ 3.0	1,610	8.1	2,204	11.1
西 成 区	△ 2,006	△ 16.8	540	4.5	2,546	21.3

1 自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表 6 - 3 自然増減率、出生率及び死亡率（上位7区）

順位	自然増減率		出生率		死亡率	
	区名	(‰)	区名	(‰)	区名	(‰)
1	西区	5.0	西区	12.1	西成区	21.3
2	中央区	3.5	鶴見区	11.4	生野区	12.9
3	鶴見区	3.1	福島区	10.8	大正区	12.7
4	天王寺区	2.6	中央区	10.5	旭区	12.5
5	福島区	2.4	天王寺区	10.3	東住吉区	12.3
6	北区	2.4	浪速区	9.9	東成区	11.5
7	淀川区	0.2	北区	9.8	港区	11.4

自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

(2) 社会動態

平成 26 年の社会動態（転入と転出の差）は 8059 人の増加となり、平成 25 年の社会動態（1 万 1417 人増）と比べると、3358 人の減少となった。また、社会増減率は 3.0‰（前年は 4.3‰）となっている。

社会増減数を区別にみると、北区が 2904 人と最も多く、次いで中央区が 2483 人、西区が 1877 人、阿倍野区が 1149 人など 12 区で増加となっている一方、東淀川区が△943 人と最も少なく、次いで住之江区が△821 人、平野区が△543 人と続いている。

社会増減率では、中央区が 28.9‰と最も高く、次いで北区が 24.7‰、西区が 21.3‰、浪速区が 13.3‰など、社会増減数と同様に市域中心部で高い増加率となっている一方、住之江区が△6.6‰で最も低く、港区が△5.4‰、東淀川区が△5.3‰と続いている。

ア 転入

平成 26 年の転入数は 17 万 8011 人で、平成 25 年（17 万 7364 人）と比べると 647 人の増加となり、転入率は 66.3‰（前年は 66.2‰）となっている。

転入数を区別にみると、北区が 1 万 3968 人と最も多く、次いで中央区が 1 万 3762 人、淀川区が 1 万 2781 人、東淀川区が 1 万 527 人、西区が 1 万 294 人と続いている。転入数が最も少ない区は大正区の 2324 人である。

転入率では、中央区が 160.0‰と最も高く、次いで浪速区が 147.3‰、北区が 118.8‰、西区が 116.6‰と続いている。転入率でも、大正区が 34.6‰と最も低くなっている。

イ 転出

平成 26 年の転出数は 16 万 9952 人で、平成 25 年（16 万 5947 人）と比べると 4005 人の増加となり、転出率は 63.3‰（前年は 62.0‰）となっている。

転出数を区別にみると、淀川区が 1 万 2334 人と最も多く、次いで東淀川区が 1 万 1470 人、中央区が 1 万 1279 人、北区が 1 万 1064 人と続く。転出数が最も少ない区は大正区の 2623 人である。

転出率では、浪速区が 134.0‰と最も高く、次いで中央区が 131.1‰、西区が 95.3‰、北区が 94.1‰と続いている。転出率においても、大正区が 39.1‰と最も低くなっている。

表 6－4 社会動態の推移

年次	社会増減			転入			転出		
	増減数 (人)	対前年 (人)	社会 増減率 (‰)	転入数 (人)	対前年 (人)	転入率 (‰)	転出数 (人)	対前年 (人)	転出率 (‰)
17年	8,144	1,293	3.1	179,006	△ 3,911	68.2	170,862	△ 5,204	65.1
18年	8,021	△ 123	3.1	178,432	△ 574	67.9	170,411	△ 451	64.8
19年	10,045	2,024	3.8	180,072	1,640	68.3	170,027	△ 384	64.5
20年	9,800	△ 245	3.7	179,069	△ 1,003	67.8	169,269	△ 758	64.0
21年	11,304	1,504	4.3	181,851	2,782	68.6	170,547	1,278	64.3
22年	9,178	△ 2,126	3.5	177,693	△ 4,158	66.8	168,515	△ 2,032	63.4
23年	9,210	32	3.5	175,872	△ 1,821	66.0	166,662	△ 1,853	62.5
24年	11,133	1,923	4.2	175,509	△ 363	65.7	164,376	△ 2,286	61.6
25年	11,417	284	4.3	177,364	1,855	66.2	165,947	1,571	62.0
26年	8,059	△ 3,358	3.0	178,011	647	66.3	169,952	4,005	63.3

1 社会増減数、転入数、転出数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

3 平成18年から21年の推計人口は、平成22年国勢調査結果により修正を行っているため、人口異動の増減数と前述の人口推移の増減数とは一致しない。

表 6 - 5 区別社会動態

区名	社会 増減数 (人)	社会 増減率 (‰)	転入数 (人)	転入率 (‰)	転出数 (人)	転出率 (‰)
大 阪 市	8,059	3.0	178,011	66.3	169,952	63.3
北 区	2,904	24.7	13,968	118.8	11,064	94.1
都 島 区	160	1.5	6,455	62.0	6,295	60.5
福 島 区	368	5.2	5,653	79.2	5,285	74.1
此 花 区	△ 44	△ 0.7	3,249	49.0	3,293	49.6
中 央 区	2,483	28.9	13,762	160.0	11,279	131.1
西 区	1,877	21.3	10,294	116.6	8,417	95.3
港 区	△ 448	△ 5.4	4,037	48.9	4,485	54.3
大 正 区	△ 299	△ 4.5	2,324	34.6	2,623	39.1
天 王 寺 区	708	9.6	6,521	88.8	5,813	79.1
浪 速 区	883	13.3	9,759	147.3	8,876	134.0
西 淀 川 区	△ 323	△ 3.3	4,591	47.4	4,914	50.7
淀 川 区	447	2.6	12,781	73.4	12,334	70.9
東 淀 川 区	△ 943	△ 5.3	10,527	59.7	11,470	65.0
東 成 区	△ 73	△ 0.9	5,062	63.0	5,135	63.9
生 野 区	△ 425	△ 3.3	7,102	54.3	7,527	57.6
旭 区	△ 61	△ 0.7	4,692	51.5	4,753	52.2
城 東 区	458	2.8	9,351	56.7	8,893	53.9
鶴 見 区	△ 239	△ 2.1	5,288	47.3	5,527	49.4
阿 倍 野 区	1,149	10.6	7,388	68.5	6,239	57.8
住 之 江 区	△ 821	△ 6.6	4,979	39.9	5,800	46.5
住 吉 区	△ 207	△ 1.3	8,085	52.1	8,292	53.5
東 住 吉 区	264	2.0	6,943	53.8	6,679	51.7
平 野 区	△ 543	△ 2.7	8,214	41.5	8,757	44.3
西 成 区	784	6.6	6,986	58.4	6,202	51.9

1 社会増減数、転入数、転出数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表 6 - 6 社会増減率、転入率及び転出率（上位7区）

順位	社会増減率		転入率		転出率	
	区名	(‰)	区名	(‰)	区名	(‰)
1	中央区	28.9	中央区	160.0	浪速区	134.0
2	北区	24.7	浪速区	147.3	中央区	131.1
3	西区	21.3	北区	118.8	西区	95.3
4	浪速区	13.3	西区	116.6	北区	94.1
5	阿倍野区	10.6	天王寺区	88.8	天王寺区	79.1
6	天王寺区	9.6	福島区	79.2	福島区	74.1
7	西成区	6.6	淀川区	73.4	淀川区	70.9

社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

7 年齢別人口

(1) 年齢(3区分)別人口

平成 26 年の人口について年齢（3 区分）別割合をみると、0～14 歳人口（年少人口）は 11.3%、15～64 歳人口（生産年齢人口）は 63.8%、65 歳以上人口（老年人口）は 24.9%となっており、65 歳以上人口の割合のみが、平成 25 年（24.2%）と比べて上昇している。

表 7－1 年齢（3 区分）別推計人口

年次	人口（人）					割合（%）				
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上
平成22年	2,665,314	308,093	1,734,432	598,835	270,993	100.0	11.7	65.7	22.7	10.3
23年	2,670,579	307,028	1,737,212	602,387	283,842	100.0	11.6	65.6	22.8	10.7
24年	2,677,375	305,525	1,724,985	622,913	296,186	100.0	11.5	65.0	23.5	11.2
25年	2,683,487	303,944	1,712,359	643,232	305,303	100.0	11.4	64.4	24.2	11.5
26年	2,686,246	301,666	1,697,264	663,364	312,837	100.0	11.3	63.8	24.9	11.8

- 1 平成22年は国勢調査結果。平成23年から平成26年は10月1日現在年齢別推計人口。
- 2 人口総数は年齢「不詳」を含むため、年齢（3 区分）別人口の合計と一致しない。
- 3 構成比は年齢「不詳」を除いて算出している。

(2) 区別の年齢(3区分)別人口

区別の年齢（3 区分）別人口を平成 25 年と比べると、年少人口の増加が最も大きいのは西区の 519 人増で、最も減少が大きいのは平野区の 871 人減であった。生産年齢人口では、中央区の 1793 人増が最も多く、最も減少が大きかったのは住之江区の 2276 人減であった。老年人口では、淀川区の 1539 人増が最も多いものの、全ての区でそれぞれ増加となった。

表 7－2 区別の年齢（3 区分）別人口

区名	平成26年				平成25年からの増減数		
	総数	0～ 14歳	15～ 64歳	65歳 以上	0～ 14歳	15～ 64歳	65歳 以上
大 阪 市	2,686,246	301,666	1,697,264	663,364	△ 2,278	△ 15,095	20,132
北 区	120,727	10,416	84,556	23,108	431	1,775	978
都 島 区	104,147	11,990	67,391	23,480	91	△ 812	809
福 島 区	71,909	8,426	48,289	14,311	86	△ 38	494
此 花 区	66,198	8,057	41,041	16,987	△ 100	△ 575	522
中 央 区	88,819	7,594	66,179	15,040	362	1,793	632
西 区	90,623	10,005	65,924	14,682	519	1,165	632
港 区	81,810	9,107	50,597	21,581	△ 265	△ 1,004	486
大 正 区	66,421	7,606	39,191	19,270	△ 190	△ 1,042	515
天 王 寺 区	74,341	9,508	48,891	14,284	274	255	369
浪 速 区	67,134	4,147	47,260	13,106	147	264	477
西 淀 川 区	96,350	12,782	59,878	23,136	△ 303	△ 966	761
淀 川 区	174,512	18,198	115,579	38,793	△ 62	△ 990	1,539
東 淀 川 区	175,393	18,803	114,413	40,213	△ 567	△ 1,917	1,427
東 成 区	80,019	8,987	50,041	20,235	△ 79	△ 813	556
生 野 区	129,472	12,782	77,299	38,431	△ 375	△ 1,693	820
旭 区	90,526	9,835	54,255	26,100	△ 136	△ 895	530
城 東 区	165,190	21,036	102,963	40,423	△ 183	△ 827	1,296
鶴 見 区	111,988	17,970	69,587	23,768	△ 52	△ 560	723
阿 倍 野 区	108,861	13,384	67,229	27,605	169	37	746
住 之 江 区	123,411	14,019	75,157	33,501	△ 424	△ 2,276	1,456
住 吉 区	154,539	18,048	94,266	41,255	△ 354	△ 1,346	1,178
東 住 吉 区	128,816	14,923	76,936	36,441	△ 243	△ 1,021	912
平 野 区	196,702	25,638	117,106	53,096	△ 871	△ 1,642	1,376
西 成 区	118,338	8,405	63,236	44,518	△ 153	△ 1,967	898

総数は年齢「不詳」を含むため、内訳とは一致しない。

区別の年齢（３区分）別人口の割合をみると、年少人口では鶴見区が 16.1%と最も高く、次いで西淀川区が 13.3%、天王寺区と平野区が 13.1%と続く。最も低いのは浪速区の 6.4%となっている。

生産年齢人口では中央区が 74.5%と最も高く、次いで浪速区が 73.3%と続く。最も割合が低いのは西成区の 54.4%となっている。

老年人口では西成区が 38.3%と最も高く、次いで生野区が 29.9%と続く。最も割合が低いのは西区の 16.2%となっている。

表 7－3 区別の年齢（３区分）別人口割合

区名	(%)				(ポイント)		
	平成26年				平成25年からの増減		
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
大 阪 市	100.0	11.3	63.8	24.9	△ 0.10	△ 0.63	0.73
北 区	100.0	8.8	71.6	19.6	0.13	△ 0.44	0.31
都 島 区	100.0	11.7	65.5	22.8	0.08	△ 0.85	0.77
福 島 区	100.0	11.9	68.0	20.1	0.03	△ 0.58	0.55
此 花 区	100.0	12.2	62.1	25.7	△ 0.12	△ 0.72	0.85
中 央 区	100.0	8.6	74.5	16.9	0.14	△ 0.33	0.19
西 区	100.0	11.0	72.8	16.2	0.30	△ 0.59	0.29
港 区	100.0	11.2	62.2	26.5	△ 0.22	△ 0.63	0.85
大 正 区	100.0	11.5	59.3	29.2	△ 0.16	△ 0.92	1.08
天 王 寺 区	100.0	13.1	67.3	19.7	0.22	△ 0.49	0.27
浪 速 区	100.0	6.4	73.3	20.3	0.14	△ 0.61	0.47
西 淀 川 区	100.0	13.3	62.5	24.2	△ 0.24	△ 0.67	0.92
淀 川 区	100.0	10.5	67.0	22.5	△ 0.07	△ 0.76	0.83
東 淀 川 区	100.0	10.8	66.0	23.2	△ 0.26	△ 0.70	0.96
東 成 区	100.0	11.3	63.1	25.5	△ 0.05	△ 0.75	0.81
生 野 区	100.0	9.9	60.1	29.9	△ 0.19	△ 0.73	0.92
旭 区	100.0	10.9	60.2	28.9	△ 0.09	△ 0.65	0.74
城 東 区	100.0	12.8	62.6	24.6	△ 0.13	△ 0.61	0.75
鶴 見 区	100.0	16.1	62.5	21.4	△ 0.06	△ 0.57	0.63
阿 倍 野 区	100.0	12.4	62.1	25.5	0.05	△ 0.52	0.47
住 之 江 区	100.0	11.4	61.3	27.3	△ 0.23	△ 1.22	1.45
住 吉 区	100.0	11.8	61.4	26.9	△ 0.19	△ 0.67	0.86
東 住 吉 区	100.0	11.6	60.0	28.4	△ 0.16	△ 0.63	0.79
平 野 区	100.0	13.1	59.8	27.1	△ 0.37	△ 0.49	0.86
西 成 区	100.0	7.2	54.4	38.3	△ 0.06	△ 1.11	1.16

割合は年齢「不詳」を除いて算出している。

表 7－4 年齢（３区分）別人口割合（上位７区）

順位	0～14歳		15歳～64歳		65歳以上	
	区名	割合 (%)	区名	割合 (%)	区名	割合 (%)
1	鶴見区	16.1	中央区	74.5	西成区	38.3
2	西淀川区	13.3	浪速区	73.3	生野区	29.9
3	平野区	13.1	西区	72.8	大正区	29.2
4	天王寺区	13.1	北区	71.6	旭区	28.9
5	城東区	12.8	福島区	68.0	東住吉区	28.4
6	阿倍野区	12.4	天王寺区	67.3	住之江区	27.3
7	此花区	12.2	淀川区	67.0	平野区	27.1

平成26年10月1日現在の人口に対する割合である。

(3)年齢(5歳階級)別社会動態

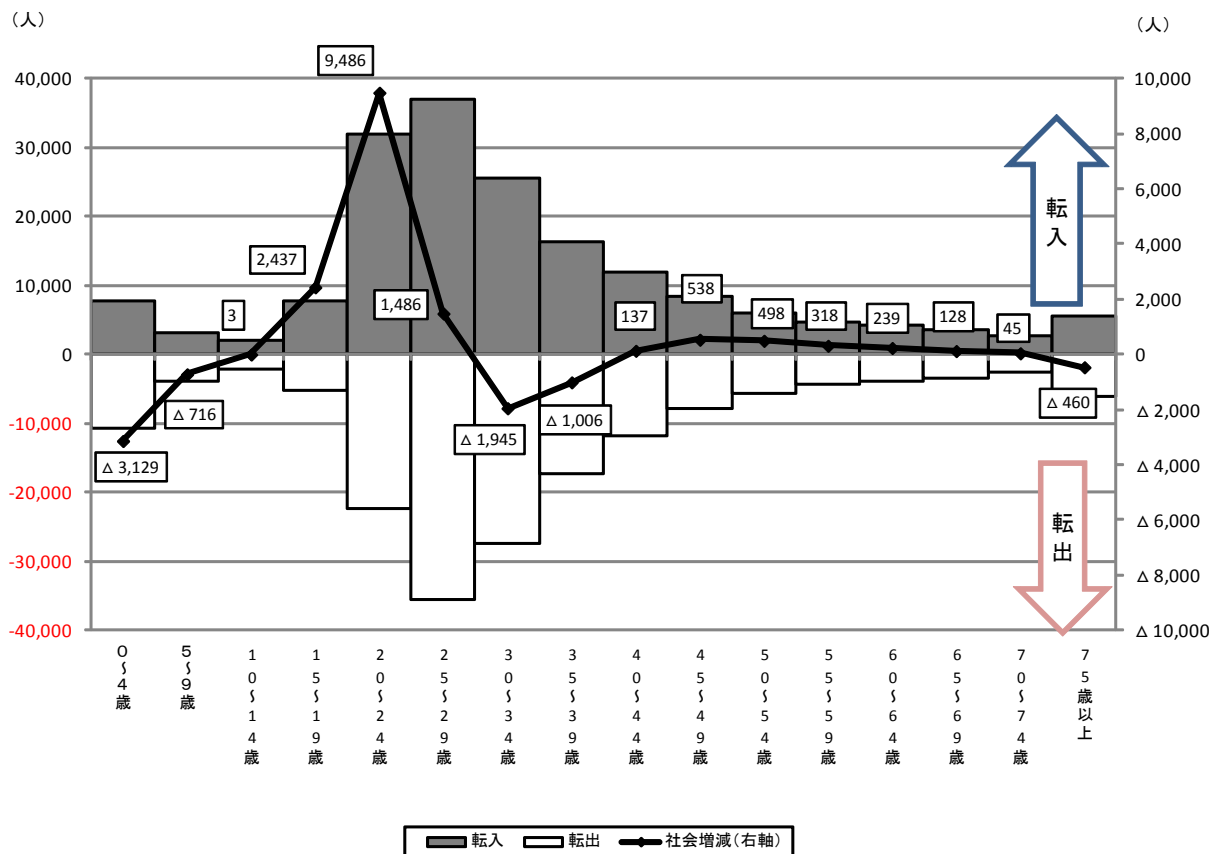
平成 26 年の社会増減を年齢（5 歳階級）別にみると、15 歳から 29 歳までの各階級で 1000 人を超える増加となっており、特に「20～24 歳」では 9486 人となっている。これに対して、30 歳から 39 歳及び 0 歳から 9 歳までの各階級（世帯形成層・育児層及びその子どもの層）ではマイナスとなっている。

表 7－5 年齢（5 歳階級）別転入、転出及び社会増減数

	0～4 歳	5～9 歳	10～14 歳	15～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳
転入	7,639	3,233	2,079	7,753	31,948	36,944	25,444	16,284
転出	10,768	3,949	2,076	5,316	22,462	35,458	27,389	17,290
社会増減	△ 3,129	△ 716	3	2,437	9,486	1,486	△ 1,945	△ 1,006

	40～44 歳	45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75 歳以上
転入	11,857	8,314	6,064	4,643	4,171	3,489	2,595	5,554
転出	11,720	7,776	5,566	4,325	3,932	3,361	2,550	6,014
社会増減	137	538	498	318	239	128	45	△ 460

図 4 年齢（5 歳階級）別社会動態



(4)区別の年齢(5歳階級)別社会動態

区別の社会増減を年齢（5 歳階級）別にみると、15 歳から 29 歳までの階級では北区が 1811 人と最も多く、次いで中央区が 1808 人、西区が 1519 人、淀川区が 1497 人、浪速区が 1266 人と続いている。30 歳から 39 歳までの階級では東淀川区が△1039 人と最も少なく、次いで淀川区が△534 人、生野区が△415 人、平野区が△376 人、浪速区が△323 人と続いている。

表 7-6 区別の年齢（5歳階級）別社会増減数

(人)

区名	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
大 阪 市	△ 3,129	△ 716	3	2,437	9,486	1,486	△ 1,945	△ 1,006
北 区	△ 144	△ 30	18	216	1,001	594	292	188
都 島 区	△ 78	△ 16	11	70	309	84	△ 66	△ 88
福 島 区	△ 218	△ 13	△ 16	66	404	335	△ 65	△ 21
此 花 区	△ 107	△ 31	△ 15	85	86	△ 9	△ 60	△ 19
中 央 区	△ 149	△ 17	5	251	1,171	386	179	200
西 区	△ 60	11	3	149	890	480	203	28
港 区	△ 124	△ 51	△ 24	21	294	△ 74	△ 201	△ 110
大 正 区	8	△ 34	△ 4	△ 7	△ 57	△ 73	△ 16	△ 21
天 王 寺 区	△ 15	64	30	52	251	139	143	61
浪 速 区	△ 260	△ 35	6	260	1,019	△ 13	△ 239	△ 84
西 淀 川 区	△ 176	△ 45	△ 17	47	142	△ 17	△ 116	△ 75
淀 川 区	△ 355	△ 64	4	165	1,233	99	△ 387	△ 147
東 淀 川 区	△ 423	△ 124	△ 24	287	943	△ 224	△ 667	△ 372
東 成 区	△ 61	△ 4	8	49	266	△ 102	△ 122	△ 115
生 野 区	△ 94	△ 51	△ 29	165	238	△ 167	△ 279	△ 136
旭 区	△ 89	△ 14	12	57	152	△ 12	△ 95	△ 47
城 東 区	△ 107	△ 41	△ 17	40	322	118	57	28
鶴 見 区	△ 126	△ 47	4	△ 18	82	163	17	△ 132
阿 倍 野 区	159	114	25	162	132	60	106	212
住 之 江 区	△ 120	△ 49	△ 1	△ 35	△ 62	△ 165	△ 121	△ 61
住 吉 区	△ 212	△ 78	15	103	163	△ 29	△ 111	△ 47
東 住 吉 区	△ 83	△ 21	14	130	215	22	△ 114	△ 40
平 野 区	△ 230	△ 134	△ 16	17	129	△ 17	△ 203	△ 173
西 成 区	△ 65	△ 6	11	105	163	△ 92	△ 80	△ 35
区名	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
大 阪 市	137	538	498	318	239	128	45	△ 460
北 区	238	241	145	86	38	23	△ 6	4
都 島 区	△ 32	41	△ 1	△ 7	21	△ 32	△ 4	△ 52
福 島 区	4	△ 11	△ 8	11	△ 30	△ 4	△ 10	△ 56
此 花 区	△ 16	19	35	△ 31	△ 1	12	0	8
中 央 区	158	112	109	43	15	21	12	△ 13
西 区	122	7	21	30	1	△ 7	△ 22	21
港 区	△ 53	3	1	△ 13	3	△ 26	△ 23	△ 71
大 正 区	△ 44	12	△ 2	4	△ 3	△ 6	△ 1	△ 55
天 王 寺 区	107	45	28	△ 28	△ 42	△ 32	△ 17	△ 78
浪 速 区	37	22	72	37	△ 1	△ 6	22	46
西 淀 川 区	△ 13	△ 17	△ 1	△ 9	△ 15	△ 25	22	△ 8
淀 川 区	△ 58	28	45	2	△ 33	△ 11	△ 17	△ 57
東 淀 川 区	△ 181	△ 54	△ 20	13	△ 1	14	△ 64	△ 46
東 成 区	△ 4	△ 5	15	△ 26	12	5	△ 14	25
生 野 区	△ 41	△ 32	△ 10	16	45	△ 8	△ 14	△ 28
旭 区	△ 2	1	5	21	12	11	15	△ 88
城 東 区	1	△ 5	41	23	△ 7	△ 32	0	37
鶴 見 区	△ 121	△ 36	△ 32	△ 25	11	0	10	11
阿 倍 野 区	138	56	△ 14	6	30	△ 12	△ 8	△ 17
住 之 江 区	△ 44	△ 61	△ 25	△ 30	△ 41	△ 7	22	△ 21
住 吉 区	△ 19	△ 1	15	32	△ 9	31	35	△ 95
東 住 吉 区	31	33	0	△ 24	2	32	15	52
平 野 区	△ 115	10	△ 16	45	58	54	33	15
西 成 区	44	130	95	142	174	133	59	6